

巻 頭 言

経営情報実務学科長 野澤 智

ここに「城西経営情報研究年報」の第5号を刊行する。本誌を創刊するにあたり、本学経営情報実務学科教員の日頃の教育および研究の成果がここに発表されることは悦びに耐えない。

本学は、平成17年4月に名称を「城西短期大学」とした。これまでの女子短大から男女共学の新しい短大として出発した。理念として「基礎教育と進路選択のためのベースカレッジ」を掲げた。ベースカレッジのベースとは、基礎またはベースキャンプを意味しており、卒業後の多様な進路に対応した基礎教育と進路選択のための豊富なカリキュラムと進学機会を提供する短大（カレッジ）であることを教育理念においている。幸い、男子学生も20名以上在籍しており、男女ともに和気藹々とし活発に授業や学内行事に参加し、これまで以上にいい雰囲気の短大となっている。

また平成18年4月にはこれまでの2学科を改組し、ビジネス総合学科として新たに出発する。入学定員120名の小さな所帯ではあるが、学生ひとり一人を大切に面倒見の良い短大である特長を生かしていきたい。さらに平成18年4月からは坂戸キャンパス以外に東京紀尾井町キャンパスでも授業を行う。緑豊かな坂戸キャンパスと都心の利便性の高い紀尾井町キャンパスの両方で学生は授業を受けることが出来る。新キャンパスでの新しい展開に期待したい。

ベースカレッジでは、本学の経済学部・経営学部・現代政策学部への3年次編入と理学部・薬学部1年次または2年次への転入学の機会の提供など、全学部が同一キャンパス（坂戸）にあるメリットを最大限に活用し、様々な進路選択の機会を提供する短大である。また就職希望、公務員志望の学生に対しても準備ゼミナールや資格取得講座など様々な支援体制が整っている。ビジネス総合学科では、職業人として社会で必要とされる基本的な知識や技能の修得はもちろんのこと、自分自身の人生設計を考える場として必要なカリキュラムを提供する。基礎教育と進路選択のためのベースカレッジとして、本学がこれからの短大教育のひとつの方向性を今後ますます打ち出すことができることを期待したい。

Chairman
Satoshi Nozawa